

特集



箱ずし



鋳物



萬古焼



桑名の千羽鶴

広報くわな KUWANA

目次 contents

- 02 キラリ★くわな人
- 03 特集 桑名の伝統を楽しく学ぼう
わくわくものづくり体験
- 08 令和3年度 決算報告
- 10 桑名市議会議員選挙
- 12 オンデマンドバス(のーと桑名)
- 14 職員の人事・給与などの公表
- 15 「対象店舗で最大25%戻ってくる」キャンペーン
- 16 子育て広場
- 17 図書館・六華苑・博物館
- 18 メディカルニュース・くわな防災教室

- 19 かんたん旬レシピ・みんなの掲示板
- 20 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 22 くわなINFO
- 32 無料相談
- 33 桑名フィルムコミッション
市長まちなか探索
- 34 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

ちぎれてしまわないようにと、空中に持ち上げながら、慎重に桑名の千羽鶴を折る子どもたち。満面の笑みで、完成した拾餌(まひろい)を見せてくれました。



桑名の伝統を楽しく学ぼう

わくわくものづくり体験

桑名では伝統工芸品から郷土料理まで、さまざまな文化や技術が受け継がれています。

今月号では「桑名の千羽鶴」「萬古焼」「鋳物」「箱ずし」をピックアップ。

桑名の伝統を、ものづくりを通して学んでみませんか。

各体験の申し込みは
こちらから



締切
11/15(火)

※左記フォームでの申し込みが
難しい人は、秘書広報課で受
け付けます

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)



和太鼓



刃物



桑名盆(かぶら盆・漆器)



はじき猿



貝簍

キラリ★くわな人



トライアスロン成年女子
とちぎ国体三重代表
河田 朱里 さん

河田さんは、中学・高校と陸上、大学から水泳を始め、社会人になってからも水泳の大会に出場していました。

トライアスロンを始めたきっかけは、水泳の練習をしていた時に隣のレーンで泳いでいたトライアスロンをする人が声をかけてくれ、一緒に試合を見に行つた際に自分もやってみようと思ったからだそうです。

早速、自転車を購入し、陸上・自転車・水泳の練習を毎日1種目ずつ行いました。2019年に初めて大会に出場。この大会

に参加した時に「地元の三重とこわか国体に出場したい」との思いが湧き、国体出場を目標に練習を積み重ねたそうです。しかし、新型コロナウイルスのまん延で三重とこわか国体は中止。それでも河田さんは諦めず練習を積み重ね、今年、見事にとちぎ国体出場の切符をつかみました。「コロナ禍で大会の中止が相次いだことがモチベーションを保つのに辛かったです」と話してくれました。

10月2日のとちぎ国体では、三重県女子代表として過去最高の順位を獲得されました。今後の活躍に期待しています。



桑名の千羽鶴



桑名の千羽鶴の折り方は江戸時代に魯縞庵義道が考案したもので、現在約50種類ほどの折り方が受け継がれています。

萬古焼



森一蔵さんの作品。ピンク色の釉薬は金を原料としています。この色を再現するまで20年を費やしたそうです。

1枚の紙から何羽もの鶴を折る

市の無形文化財に登録されている「桑名の千羽鶴」。並んだ2羽が親子や夫婦に見えるもの、5羽の鶴を縦に重ねたもの、97羽の群れなどバラエティ豊かです。折るのは一見難しそうですが、一般的な鶴の折り方を知っているなら大丈夫。紙がちぎれず完成した時の喜びもひとしおです。「外国人や他地域の人に見せると、『どうやって折っているの?』と交流が始まります」と長坂さん。折り始めると、大人も子どもも夢中に。ぜひチャレンジを。

小学校への出張授業も行っています！

桑名の千羽鶴を広める会 代表 長坂 喜代美さん



迦陵頻 (かりょうびん)

ちぎれてしまわないよう、手に持って折るのが基本



大人も子どもも夢中に！

親鶴が子鶴に餌を与えている「拾餌(えひろい)」ができた～！

完成！



ここで体験できます



くわなメディアライブ

所在地 中央町3-79
とき 12/4(日) 10:00～11:00
定員 20人(申込多数の場合抽選)
料金 1,000円
申込 3ページへ
※六華苑、博物館でも和紙の販売や簡単な指導を行っています

繊細な絵付けと鮮やかな色合い

桑名が発祥の焼き物「萬古焼」は、「萬古」の印があれば萬古焼と言われるほどさまざまな作風がありますが、主に赤絵が特徴的な「古萬古」と鮮やかなピンク色の釉薬が美しい「有節萬古」があります。桑名では一度衰退し、四日市などの地域で産業化されますが、桑名の萬古焼をもう一度復活させようとする作家たちが登場。その一人・森さんは「土は生き物。常に思うようにはいかないが、イメージどおりに出来上がるとうれしい」と話します。

市指定無形文化財 萬古焼(色絵)技術保持者 森 一蔵さん

土を見ると焼き物に使えるか、つい考えてしまいます



森 工人さん

釉薬をムラなくかけるのが意外と難しい…



2

土のひもを積み重ねる「手びねり」で茶碗を作ります



1

ここで体験できます



桑名ろっこ窯

所在地 安永1169
とき 12/10(土) 13:00～15:00
定員 4人(申込多数の場合抽選)
持物 エプロン、手拭きタオル
料金 4,000円
申込 3ページへ

完成！



2の釉薬をかけると仕上がりは黒に！他にもいろいろな色が選べます

かま 窯の中はこんな風になってるんですね



3



箱ずし

「すし工房なばな」の箱ずしは、シイタケ、生麴、玉子、かまぼこ、レンコン、しぐれ煮、おぼろを使用。色とりどりでキレイ！



鋳物

大洋産業で製造している製品の一例。地中に埋め込まれている量水器ボックスやネジ筐などを製造しています。

みんなが大好きな 懐かしい家庭の味

古くから長島に伝わる「箱ずし」は、冠婚葬祭やお祭りの時などに各家庭で作られていました。具材はレンコンやシイタケ、しぐれ煮などが主ですが、家庭によってさまざま。時代が変わり、だんだんと家庭で作られる機会は減ってしまいましたが、「すし工房なばな」ではこの味を伝承したいと毎日朝早くから箱ずしづくりに精を出しています。「子どもたちが『おいしい』って食べてくれるのがうれしい」と伊藤さんは笑顔で話してくれました。

今は11人で毎朝箱ずしを作っています！

すし工房なばな
代表
伊藤 さん



日本有数の 鋳物生産地

「東の川口、西の桑名」と言われるほど、鋳造が盛んな桑名。マンホールや自動車部品、日用品などさまざまな製品が各工場で作られています。桑名藩初代藩主の本多忠勝が鉄砲の製造を命じたことが始まりだったそうです。藤井さんは注湯工程（型に溶かした金属を流し込む工程）を担う傍ら、来年にオープンする「鋳造体験工房」のプロジェクトリーダーとしても奮闘中。「若い世代に鋳物の良さを知ってほしい」と話します。

地元のいいものを、もっと多くの人に知ってもらいたいです

大洋産業 鋳造部
藤井 淳さん



ここで
体験
できます



パブリックセンター

所在地 中央町3-44
とき 12/3(土) 10:00~12:30
定員 20人(申込多数の場合抽選)
持物 エプロン
料金 1人1,000円
申込 3ページへ
※作った箱ずしはお持ち帰りいただけます



箱を重ねて押します。ズレないようにするにはコツがあるそう



1切れで全ての味が楽しめるよう、具材を斜めに並べるのがポイント



完成！

出来立てはお米が柔らかくておいしい！

ここで
体験
できます



大洋産業

所在地 安永6-1833-1
とき 12/17(土) 13:30~16:30
料金 1,000円~(製作物による)
定員 10人(申込多数の場合抽選)
申込 3ページへ
※小学生以下は保護者同伴
※汚れてもよい服装でお越しください



敷き詰められた砂から、型をそっと取り出します

溶かした金属(体験ではスズ)を穴から流し込みます

完成！



小皿とコースターが完成！つるつるになるまで磨いてもOKです

砂の中から固まった鋳物を取り出し、磨きます

